

第 2 3 回

奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会

日 時：平成 2 1 年 2 月 1 2 日（木）

午後 6：00～

場 所：奈良市人権啓発センター 3階大会議室

次 第

開 会

1. 議 事

- (1) 第 2 2 回策定委員会議事録概要版の確認
- (2) ごみ焼却施設の候補地選定について
- (3) 現施設の事業概要等について（報告）
- (4) その他

閉 会

(事前配付資料一覧)

資料 4 8 第 2 2 回策定委員会開催概要及び議事録概要版 (案)

資料 4 9 ごみ焼却施設の候補地選定 (案)

候補地区の比較表

(参考資料)

- ・ 候補地区における経済効率面からの比較
- ・ 平成 2 0 年度 事業概要 奈良市環境清美部

《策定委員会の開催概要》

- ・ 第 2 3 回策定委員会開催概要及び議事録概要版

現施設の事業概要等

奈良市環境清美工場の概要

施設概要

[所在地] 奈良市左京五丁目2番地（奈良市環境清美センター内）

[敷地面積] 30,000m²

[焼却処理施設]

焼却能力：480t/24h（120t/24h×4基）

炉型式：全連続燃焼式

建屋概要：工場棟 鉄筋コンクリート造および鉄骨造（地下1階・地上4階）

管理棟：鉄筋コンクリート造（地上2階）

竣工年月：昭和57年3月 1基

昭和60年8月 3基

施工業者：日立造船(株)

改造：ダイオキシン削減対策工事

改造完成：平成14年3月

施工業者：三機工業(株)

[粗大ごみ破碎処理施設]

破碎能力：100t/5h

破碎型式：横軸スイングハンマー

建屋概要：破碎棟 鉄筋コンクリート造および鉄骨造（地下2階・地上3階）

竣工年月：平成元年3月

施工業者：日立造船(株)

ごみ搬入量(平成19年度)

種類	搬入量 (トン/年)	割合 (%)
総搬入量	112,101.59	
可燃ごみ	98,115.67	87.5
不燃ごみ	11,828.58	10.6
有害ごみ	6.17	
埋立ごみ	2,151.17	1.9

焼却炉排ガス測定結果(平成19年度)

	1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	基準値
ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.08
硫黄酸化物濃度のK値	0.08	0.09	0.10	0.07	17.5
窒素酸化物濃度(ppm)	101	103	106	111	250
塩化水素濃度(ppm)	28	40	33	24	430
備 考	測定回数は、1年間に12回を実施しています。 12回の測定で平均値を掲示しています。				

ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m ³ N)	1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	基準値
1回目	0.012	0.021	0.011	0.092	1
2回目	0.062	0.0047	0.00027	0.086	
備 考	測定回数は、1年間に2回を実施しています。				

過去10年間のごみと再生資源の量

年 度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	
人 口 (人)	365,991	367,689	367,745	367,284	366,492	366,295	364,932	371,910	370,852	369,708	
家 庭 系 (t)	可 燃 ご み	64,283.59	58,164.71	57,060.86	59,960.92	58,676.81	58,992.11	57,321.72	56,446.49	55,428.16	55,249.21
	不 燃 ご み	17,625.16	7,896.97	5,735.08	5,392.25	5,700.05	5,629.17	5,369.60	6,511.84	6,756.67	5,713.58
	大 型 ご み	4,102.65	4,129.21	4,365.65	3,804.98	3,904.88	4,233.65	3,660.23	3,466.30	3,487.55	3,355.79
	有 害 ご み	0.26	6.36	5.42	5.36	10.79	2.43	3.58	7.06	4.27	6.17
	埋 立 ご み			1,831.78	2,008.66	1,787.43	1,860.39	1,921.20	1,624.27	1,860.50	1,975.64
	小 計	86,011.66	70,197.25	68,998.79	68,172.17	70,079.96	70,717.75	68,276.33	68,055.96	67,537.15	66,300.39
事 業 系 (t)	可 燃 ご み	48,757.81	49,577.28	53,237.06	52,778.53	50,902.56	47,636.76	44,607.25	43,607.60	43,106.76	42,866.46
	不 燃 ご み	6,226.14	5,931.50	5,533.78	4,920.38	4,150.81	3,144.04	3,091.98	3,084.92	2,908.20	2,759.21
	埋 立 ご み			893.70	689.69	631.72	500.09	203.73	426.20	354.73	175.53
	小 計	54,983.95	55,508.78	59,664.54	58,388.60	55,685.09	51,280.89	47,902.96	47,118.72	46,369.69	45,801.20
ごみ総量 (t)	140,955.61	125,706.03	128,663.33	126,560.77	125,765.05	121,998.64	116,179.29	115,174.68	113,906.84	112,101.59	
再 生 資 源 (t)	ア ル ミ 缶	71	201.49	333.53	351.14	339.67	318.67	289.59	279.23	256.54	270.56
	ス チ ール 缶	115	429.00	670.31	588.61	552.97	531.49	453.21	419.09	388.86	371.23
	ガ ラ ス び ん	404	2,294.03	2,548.06	2,497.85	2,324.92	2,355.33	2,251.19	2,146.11	2,127.86	2,046.45
	ベ ッ ト ボ ト ル	42	374.88	374.45	440.06	474.24	477.09	500.40	483.02	479.52	457.57
	飲 料 用 紙 パ ッ ク	27	155.61	117.60	125.99	120.94	112.12	105.55	106.97	97.09	91.11
	プ ラ ス チ ッ ク 製 容 器 包 装		5,564.77	6,016.75	6,249.24	6,269.00	6,490.81	6,239.36	6,373.81	6,120.49	5,025.46
	計	659	9,019.78	10,060.70	10,252.89	10,081.74	10,270.93	9,734.56	9,808.23	9,470.36	8,262.38

※ごみ総量の中には、再生資源は含まれていません。

第23回委員会	
開催概要	H21.2.12

第23回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第23回 奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会
日時	平成21年2月12日（木） 18：00～20：20
場所	奈良市人権啓発センター 3階大会議室
出席者	委員 岡本志郎、片山信行、木内喜久子、國領弘治、阪本昌彦、佐藤真理、田中幹夫、古海忍、坊忠一、三浦教次、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口裕司、吉岡正志、吉田隆一、四元信義、渡邊信久
	事務局 岩井部長、仲参事、山下課長、堀内工場長、吉住課長、松本補佐、森嶋補佐、大谷補佐、平木主任、深村主任
	コンサル 館田剛志、大木雄介
記録作成者	奈良市施設課
配付資料	資料48 第22回策定委員会開催概要及び議事録概要版（案） 資料49 ごみ焼却施設の候補地選定（案） 候補地区の比較表 （参考資料）・候補地区における経済効率面からの比較 ・平成20年度 事業概要 奈良市環境清美部 （現施設の事業概要等）
会 議 内 容	
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第22回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) ごみ焼却施設の候補地選定について</p> <p>(3) 現施設の事業概要等について（報告）</p> <p>(4) その他</p> <p>閉 会</p>	

議 事 要 約 内 容	
事務局(森嶋)	● 今回は奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会の第23回目の会合でございます。委員会開会に当たり、岩井環境清美部長よりご挨拶を申し上げます。
事務局(岩井部長)	「部長挨拶」
事務局(森嶋)	● 本日の出席状況ですが、委員総数21名の内16名ご出席頂いており、本日の委員会は成立していることをご報告申し上げます。 尚、郡寫委員長、今井委員、田中啓義委員は、ご欠席される旨の連絡を頂いております。議事の進行は、渡邊委員長代理にお願い致します。
渡邊委員長代理	1. 議 事 ● 今日は、23回目になります。資料確認から始めて頂きまして、今日は絞り込みの件と、現有施設に関する報告も入れております。
事務局(森嶋)	「資料の確認」
渡邊委員長代理	● 皆さんよろしいでしょうか。今日の資料ですけど、傍聴の方に配られてます。
事務局(森嶋)	● まだ配っておりません。
渡邊委員長代理	● 配って頂いて結構です。毎回申し訳ないんですが、所有者が何人位いるとか、いくら位お金がかかりそうだという一覧表が入ってます。数字がないと我々も議論できませんので、できる限りの数字を、無理して入れてもらってるもので、傍聴の方、終わってから回収ということで進めさせていただきます。
渡邊委員長代理	(1) 第22回策定委員会議事録概要版の確認 ● 議事録で、直しておきたいところありましたら、終わりまでに申し出頂きましたら、対応したいと思います。
渡邊委員長代理	(2) ごみ焼却施設の候補地選定について ● 資料49の内容について、どう変わってきてるか説明を頂きたいと思います。
事務局(吉住)	「候補地区の比較表」(資料49)と「候補地区における経済効率面からの比較」(参考資料)の修正内容の概要について説明。
渡邊委員長代理	● 比較表、参考資料の経済効率面のところから説明して頂きました。注意書きで、不動産鑑定士が正式に鑑定したものではない。10ha当たりでざっと計算をして、⑤-1が22億ですか、これが一番高いんですね。⑥-1が2億2,000万になっているかと思います。前回ここがないとお話にならないという話になったのは、土地の値段だけじゃなくて、収集運搬コストとの絡みです。収集運搬コスト1.1とか1.2と比率で書いてますが、⑤-1で12億1,000万ですので、1年間で12億円使ってしまう訳です。これと⑥-2、14億1,000万、すわなち1年間で2億円違いが出てきます。土地の値段が20億円と2億円の違いでも、10年経ったらチャラになってしまう位収集運搬コストは大きいので、土地が安いからといって、遠くで

	<p>買うと大変な目に合うこともご理解頂きたいと思います。</p> <p>この地図が載っている資料ですが、どこに応募があったか分かるように、⑥-1、⑥-2、⑨-1、⑨-2と応募があった旨が記されております。皆様からご意見を頂きたいと思います。</p>
三浦委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 候補地区における経済効率面からの比較では、⑥-1がトータルで22億9,564万となっておりますが、資料49で、用地については奈良市と奈良市土地開発公社が所有していると網掛けしてありますが、どう理解したらいいのか、説明をお願いしたい。
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 費用は、概算の価格で10haで積算しています。資料49の経済効率で、買収費が高いとか、概ね高いとかになると思うのですが、簿価との関係があり、比較文章表現できなかったもので、所有しているという表現に留めさせて頂きました。
三浦委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 所有しているということは、買ってあるということでしょうか。
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良市の宅地造成事業会計で以前から持っておったのと、買収したのと、土地開発公社が以前、積水の関係で買収した土地で、各々所有されてます。
三浦委員	<ul style="list-style-type: none"> ● もう買ってあるということは、買収費がゼロとなるのか、参考資料に載っているように、22億9,564万トータルでかかるのか、ご説明お願いしたいんです。
事務局(仲)	<ul style="list-style-type: none"> ● 以前も田中(啓)先生からも、奈良市が先行取得しているということは、ゼロでいいと話ありましたが、土地開発公社は、用地の先行取得で、かなり多額のお金をかけておりますので、買い戻すとなると80億円位になります。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 整理しますと、80億って言うてるのは、10haですか。
事務局(仲)	<ul style="list-style-type: none"> ● 12.6ha土地開発公社の金額が80億でございます。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 10ha分だから、ほぼ全部ですね。現在の推定土地価格は、周りの相場から見て、2億2,000万円と40分の1位ですか。三浦委員から、ゼロと見るべきという意見もあるのではないかとのご指摘でありました。ゼロかもしれませんが、敷地造成費が20億位で、合計で23億円位かかる訳ですけども、その内の2億円ですので、他との比較でいいですと20億少しという位に思ってもいいかもしれない。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良市の分が14haで、開発公社が12.6haと書いてますが、きれいに区分けされてるのですか。また、奈良市の分はお金が帳簿上も動かないのか、お願いします。
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料49の応募状況で、応募面積が約26.6haは、登記簿上の面積で、実測面積は、約37.9ha程でございます。奈良市の分が、登記簿上の面積で約14haと土地開発公社が約12haをもって、公募上の面積が26.6ha、実測は、37.9ha程でございます。土地開発公社並びに宅地造成事業の合わせた全体面積に対する現在の簿価は、約98億8,000万円になってます。 <p>清掃工場は、今10haと設定して、実測面積が37.8程でございますので、敷地面積は膨大すぎるので、簿価で買い戻して10haで、20億から26億程度の買い戻し金額になると考えます。</p>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地開発公社は別会計ですから、手続きが必要になりますが、奈良市分だったら、買い戻す必要がないと思う訳です。
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 名義は奈良市ですが、特別会計の宅地造成事業会計で買収してますので、一般

森住委員 事務局(吉住)	<p>会計の方から、買い戻しになると考えてます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 二つの所有者の区分けはされてるんですか。 ● 筆数が合わせて132筆ですが、土地開発公社が86筆で、宅地造成会計が46筆です。全体の中で入り組んでます。
森住委員 事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良市分だけ買うという理屈は成り立たないのですか。 ● 公社と宅造の、一つの部分のだけを利用は、難しいと思われま。どういう形で入ってるかは、現在資料を持ち合わせてないので、すぐお答はできません。
森住委員 事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 公社分が80億で奈良市分合わせて100億ですけども、20億位が奈良市のものですね。これは、買ったときの値段が安かったんですか。 ● 宅地造成事業用地は、昭和の30年代から50年代位、早い段階で買収されてますので、土地の価格が低かったから、買収金額が低いという形になってます。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● ここだけに集中しても何ですし、周りの相場から見て2億円位ということで、いいと思います。10haを20億で買い戻すとなりますと、公社とか奈良市側が相応の説明を用意しないとイケないことになると思います。 <p>③-4とか⑤-1が、30年間では一番安いのです。すなわち③とか⑤は施設に対しては30億円かかるかもしれませんが、1年当たり収集運搬で2億円位、変わってきますので、30年間位経ちますと、こっちの方が安かったとなりますので、コスト面ではそれ位の収集運搬の比率があることが、はっきりしたと思います。</p> <p>比較表の下水道でアンダーラインのところ、「なお工場排水処理は、循環再生利用する方式として排水は出しません」と断言してるんですが、「出さないものとして計算している」と書き直すべきで、排水を出すか出さないかは、施設によって、変わってきます。ここは断言してはならないと思います。</p>
古海委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 収集運搬コストがかなりきくというお話ですが、コストシュミレーションなので、計算結果と、実際の費用とを比較できるものは、ないのでしょうか。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 今の収集費用が、この参考資料の一覧表の右上の数字よりも少し高いと思います。この都跡地区の方が少し安くなる。これは収集運搬のシミュレーションで計算したもので、これから何倍位になるかは、パッカー車の走行距離とかから決めてると思います。この信頼性は言いだすとキリないのですが、小数点1ケタ目分位の精度はあると思うのです。
コンサル(館田)	<ul style="list-style-type: none"> ● 精度としては、それ位細かいことやってますので、考え方としては成り立ちます。実際の収集運搬は、可燃ごみと他のごみも総事業費として、入ってるお金になってますので、今のよりは、金額的には大きい方向にはあると思います。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 可燃ごみだけじゃなく、資源ごみなんかも入れて計算をすると、もっとかかってくるので、この金額よりももっと大きいですよというご指摘ですね。
渡邊委員長代理 事務局(堀内)	<p>(3) 現施設の事業概要等について(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現施設の件の話も聞きたいと、申しあげましたもので、お願いします。「現施設の事業概要等」の説明

事務局（山下） 渡邊委員長代理 佐藤委員	<p>「過去10年間のごみ量」の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 近隣の方、説明に対してコメント等有りましたら。 ● 搬入されている可燃ごみ量、年間と1日当たりでどの程度、燃やしてるのか。焼却能力からいうと何%位かを明らかにしてほしいと思います。
事務局(山下) 佐藤委員 事務局(堀内)	<ul style="list-style-type: none"> ● 可燃ごみが98,000 t程入ってますので、1日当たり306.29 tの焼却になります。可燃ごみを365で割りますと268.08 tになります。 ● 焼却能力で言うと、2基+α、3基で十分いけることになりますかね。 ● 現有施設の方が、老朽化致しまして、建設当初の処理能力を、かなりダウンした形で今運転しております。オーバーホールを致しますと、1つの炉を約1月休ませて整備しなきゃいけない。4基フル稼働で燃やしているのが現状です。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● オーバーホールなどを考えると、480 tのところを268 tの実績というのが、現在老朽化施設では、精一杯だという現状ということでしょうか。急いで移転しなきゃならないなという感じがします。
事務局(山下)	<p>人口は、10年前と比べるとほとんど差がない。家庭系の可燃ごみが、9,000 t程減ってる。事業系の可燃ごみも5,700 t程減っているかと思うんです。ごみ総量は28,000 t程減ってますが、再生資源の実績が少なくなっているのはなぜなのか、教えてほしいんですが。事業系は減ってはいるんですけども、事業系のごみも、もっと減量努力をしていく必要があると。焼却施設も、なるべく負担かけない形でやっていくのが、今後望ましいので、御説明頂けたら幸いです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 家庭系可燃ごみの差で、3,000 t程減ってます。事業系も9,600 t減ってます。可燃ごみは、減量して頂く啓発にも努めたいと思いますし、奈良市は、ごみ量は日本全国では、かなり減量されている状況です。再生資源は、去年オリンピックがあり、中国需要が多く、日本から資源の原材料として、かなり輸出されてたこと、各自治会が資源を集めて、リサイクルルートを独自で作って、直接奈良市へ来ない部分もたくさん増えてる状況で最近減ってきてると考えております。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 特にアルミ缶とか、収集の時に出しても、結構持っていかれることがあると思います。事業系に注目する必要があるとおっしゃったんですけど、奈良は特殊だなと思ってまして、奈良市の事業概要で発熱量が非常に低いんです。昭和60年ごろですと、大体1,600、1,700kcal/kg位で炉を設計するんです。大都市で2,400とか2,600位出るのが当たり前なんです。カロリーでごみの投入量が決まりますから、400 tの炉を造っても、高いカロリーだったら300 tしか入れられないとか、起こってくる訳ですけど、奈良市の場合は、今だに2,000 kcal位。事業概要の数字見て、何でこんなに低いのかなと。事業系も多いということで、この事業系は旅館ですか。オフィスごみは、紙が多くてカロリーが高いんですけど、飲食業の水分が多いものが入ってくると、カロリーが下がりますが、食品リサイクルでがんばるにしても、地場産業を支えるということからしますと、あんまり強く攻撃してもいけないかなと、私感じてるんです。
コンサル（館田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国的な状況から、新しい炉設計するとき、2,300とか400とかで、大都市です

<p>渡邊委員長代理 事務局（堀内）</p>	<p>と、3,000を超える設計を最近新しい炉でしてると。15、20年位前ですと、上が2,600で基準が1,800とか1,600という状況でした。近年、プラスチックを燃やしてるとかで、2,600とか多かったのですが、最近下がり気味で2,200位が大都市です。それから見ても、奈良は若干低いのかなと、オフィス系の紙ごみとかは、多くはないのじゃないかは、その通りだと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 私も大阪で働いてますし、京都とか神戸のごみも普段みることがあるので、他の自治体と比べて、奈良市ではオフィスがいっぱいあるようにも思えませんので、旅館業の方が多いのじゃないかなと、単に類推しただけの話です。
<p>渡邊委員長代理 森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● オフィス系のごみよりも厨芥のごみが多いです。旅館の問題よりも、いわゆる生活ごみの、スーパーとか、飲食店の厨芥のごみが比較的多いのが現状です。 ● 排ガスの測定結果で、何かご注意頂くことがありますでしょうか。 ● この数値で、基準値と比較してますね。企業が焼却炉造る場合に、計画値を出してると思うのです。それと比較しないとね。この辺の数字と発表の仕方も気をつけてほしいと思います。 <p>焼却能力の問題でも、365日で最初計算されましたが、焼却炉は、平均の数字は280日位です。それで比較しないと。参考意見として申し上げます。</p>
<p>渡邊委員長代理 事務局（堀内）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 炉は4つ有りますが、いつも動いてる炉は3つ位ですか。 ● オーバホールしてるときは1炉ずつ止めますけど、それ以外はほぼ4基稼働しております。
<p>渡邊委員長代理 事務局（堀内）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● カロリー的にはかなり余裕のある状態で稼働されてるんですね。 ● 余裕はあまりないのです。焼却能力がかなりダウンしてますので、オーバーホールで1基休みますと、大変苦慮しているのが現状です。
<p>渡邊委員長代理 吉田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 最初の設計通りは動かないというお話ですが。 ● 今年、地域の住民対象でデータ公開をやって頂き、騒音の測定値が何点か基準値よりオーバーしてるのが有り、自動車の音とか入ってる可能性があるという説明だったのですが、そのような数値が出てくること自身がおかしいと思いますので、その原因の究明を、次回はちゃんとして頂きたい。 <p>私も横を通って通勤してますけど、臭いはします。我々の方もまた気が付いたら連絡させてもらいますので、対応よろしくお願い致します。</p>
<p>渡邊委員長代理 吉田委員 事務局（山下）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 音の話と臭いですね。近所の方がおかしいのと違うかということの時折言って頂けるとするのは、それだけ信頼してもらってる証拠かと思います。 ● 私が横歩いてて、パッカー車の停めてる近くで、割と臭ってる気もするんですけども、パッカー車の駐車場から出てる臭いはどうなんでしょう。
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみの収集に毎日出ますけども、収集が終わりましたら、洗車場で、パッカーの中を洗って、駐車して終わる形です。そこで落とされたごみについても、集めて処分してますので、駐車場等からは、臭いは少ないと思います。 ● 収集運搬業務のことも焼却施設の移転と同じように周辺住民からは重要なことですので、配慮をお願いしたいと思います。

山口委員	<p>焼却施設の話になると、近隣住民からの意見は収集運搬に対する意見がほとんどなんです。</p>
事務局(堀内)	<ul style="list-style-type: none"> ● 現有施設のオーバーホールの費用で、年間で結構な費用かかっていると思うんですけど、今どれ位かかっているか、ご説明頂きたいと思います。
山口委員	<ul style="list-style-type: none"> ● オーバーホールに約6億前後の金額が必要かと覚えておりますが。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間で6億という額をかけて、整備・点検をして、市民のごみ処理を一生懸命やっている訳ですけども、それだけかけても、稼働能力としては、今現在は落ちてきている状態かと思えます。私達が、目指してる施設は、最新の技術を持ったものになるのか、これから議論していくと思うのですが、住民の皆さんの不安要素が取り除かれる施設を目指さないと、と思いました。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● オーバーホール6億というのは、高いのか、僕もよく分からないですけどね。
事務局(堀内)	<ul style="list-style-type: none"> ● オーバーホールして元の機能に戻るということはない訳ですよ。100%じゃないと。当然のことと感じてるんですけど。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 20年間、毎年行ってます。それ以外に、4週間に一回ずつ炉を止めて、清掃等の点検も行ってます。機能回復が100%、毎回回復する訳ではございませんが、機能回復につながるオーバーホール、改修をめざしていきたいと考えてます。
事務局(堀内)	<ul style="list-style-type: none"> ● 煙突のもとから煙が出ての話がございまして、修復したという話がございましたけれども、その後うまくいってる訳でございますか。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 去年の9月ごろでしたか、全面的に部品の取り換えを完了し、今は正常に運転致しております。不都合な箇所を見つけた時には、早急に対処したいと考えております。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● また穴は開くことがあると思いますので、その時にはすぐに直せるようお願いいたします。
渡邊委員長代理	<p>‘(2) ごみ焼却施設の候補地選定について</p>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 絞り込み作業に話戻りたいのですが、現在4カ所の応募があったということで、ここから進めていくに当たり、皆様からの意見を踏まえ、こういった形で最後の詰めまでやっってしまうという話を、次回にはやりたいのですが、ご意見を頂きたいと思えます。気になってますが、応募して頂いた方々が、奈良市在住の方がいないという、何かまずいんじゃないかと思ってるんですけど。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 市外の1ha以上の持ち主の方には、通知を差上げた訳ですね。市内の方は、広報とかHPで見て頂けるだろうということで、しなかったんで、見ておられない方がいる可能性がありますから、市内の1ha以上の方については丁寧に、ご意見をお伺いするというのをやった方がいいんじゃないかと思えます。
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 12月に応募頂いてから、何件程応募があったか、新聞か何か載ったんですかね。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良日日新聞の方が、傍聴に来られて、公募してることを何回か新聞に載せて頂いておりますが、全国紙は残念ながら載らなかったということです。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 応募があったことは載ったんですか。

事務局(吉住)	● 2月になってから、奈良日日新聞さんと奈良新聞さんは取材を受けまして、応募があったと、新聞には載せて頂いています。
渡邊委員長代理	● 奈良日日と奈良新聞ですか。あとは全国紙には載ってない。
事務局(吉住)	● それはまだ載せて頂いてません。
渡邊委員長代理	● あまり知られてない可能性ありますね。奈良新聞載ったのは2月に入ってからなんですね。それで初めて知る人も多いかとも思うんです。
事務局(吉住)	● 1月25日の奈良新聞でしたらコピーしてありますが、この大きさで、今までの経緯も、今後どのように進めていかれるかも傍聴されて記事を書かれています。
三浦委員	● 絞り込み作業として、市内の人に、もう一回通知して、確認することは大切なことだとは思いますが。公害調停で平成20年3月で一応目途を立てる話が、丸1年近く延びています。9カ所で、足踏みしている状況で、地元(左京地区)の意識を伺いたいと思うんですが。
阪本委員	● 毎月、定例の会合を自治連合会の方でやってまして、土地の選定、地元の皆さんには、ここまで来てますが、進捗が思わしくないんですけども、慎重にデリケートな扱いになってきていることでは、ご理解は頂いてますけども、調停の予定では、平成20年3月末を目標として、委員会として候補地を選定するというのも、概略についてはご理解頂いています。これ以上、委員会としての土地の候補地選定が遅れるなら、もう少し具体的に、住民の皆さんにご納得頂ける理由が出てこない、地元としては、いつになるんだという思いは当然あるかと思います。
渡邊委員長代理	● 左京地区からの意見。怒り出す前に早く進めないということですね。 奈良市域の方に十分知らされていない心配はあるということと、土地の取得の問題、期限決めにくいんですけども、最終的に市長の所へもっていくときに順位をつけて、2つか3つかそれ位を持っていくか、あるいは絞りこんでいくか、順位を決めないか、そのあたりまで、意見出して頂いて、次回にもう一度議論したらいいと思うんですが。
吉岡委員	● 中間報告から9地点に絞って、水面下で検討してはいますが、外見上は、9つの地点が止まったままと。急ぐ必要あると思ってます。絞りこんでない段階で、地主や自治会にあたるのは危険とってるので、ダメ元で1ha以上の地主に、知っておられますかと、アタックすることも考えながら、この委員会としては細心慎重にして大胆に絞り込んでいかなきゃならんと思います。委員それぞれが順番をつけて評価するとか、○、△、◎という方法もあるでしょう。委員それぞれが、比較表を判断して、私はこういう順番で、こういう理由でということ、作業を試みる必要があるのかなど。それを合わせて、何地点に絞り込むのか。この委員会で一つにするのか、二つにするのか、三つにするのか、あるいは四つにするのかの作業を、進めていくべきと思ってます。絞り込んで初めて、その地点の人達と接触を始めるということが普通のやり方じゃないかと思ってます。
渡邊委員長代理	● 絞り込んでない状態で地元の人に話をもっていくのは危険ではないかということですね。市に在住してる方には、個別にコンタクトをとって見るべきではな

吉岡委員	<p>いかと。それと、この一覧表で投票ですか。今おっしゃってるのは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 何地点だけに決めて、その地点だけを出すのか、あるいは1から9番まで順番につけるのか。議論して、やり方を決めたらいいと思います。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 今の時点で、4カ所は応募がある訳ですね。それは一応残すべきだと思います。問題はあと5カ所のところはない訳ですが、条件をそろえる意味でも1ha以上の方には、どうですかと、声をかける作業はやるべきではないのかな。待つ訳じゃないですけど、今すぐに着手したらどうか。収集運搬コストも大きな差がある訳ではありませんし、今の収集のあり方について、改善の余地あるんで、何も朝一斉にやる必要ないので、道路問題、交通問題も考えて、夕方まで、長時間収集運搬業務に従事してもらうとかも含めて工夫をすることで対応できる場所もあると思いますから。今まで検討してきた中で、用地が取得できるかどうか、一定の地域の理解得られるかどうか、最大じゃないのかなと。例えば③-4とか、たくさんの反対署名が出されているところは、手を挙げた方もいないし、外してそろそろいいんじゃないかなと思うんです。端的に委員がそれぞれ考えて、アンケート出したらと言われましたが、議論を重ねて、そろそろ思い切って、この4カ所の他ありませんかという呼びかけをしつつ、最終的に絞りこんでいくという。「平成23年3月末を目標として、環境アセスを経た上で、新施設の用地を確定。」とありますから、公害調停ではアセスの実施に3年取ってるんですが、必ずしも3年もかからなくて済むんじゃないのかなと。本来は候補地は一つに絞るべきと思うんです。私はそういう認識ですけども、2つか3つ位に決まれば、アセスをかけて、その結果を踏まえて用地確定という段取りも十分展開できます。もう少しディスカッションしていかなきゃなりません、事務局は事務局なりに考えておられると思う。次回にはある程度絞りをかけるのは必要なんじゃないかなと思います。
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 方向性について、事務局で考えてることを説明させていただきますと、他都市で候補地選定をしてる箇所が数カ所ございますので、候補地選定の最終の絞り込み方法を参考にして、叩き台的な案を、次回にご説明させて頂き、候補地の絞り込み方法を検討頂けたらと考えてます。 <p>奈良市在住の所有者の方から、応募がなかったので、1ha以上の所有者の方にお知らせしてはどうかというお話が出てきたのですが、懸念するのは、1ha以上の大口所有者の方のみを対象にした募集は、ある特定の人を対象にした募集になり、公平性の話もあり、再募集という対応をさせて頂くと。市民だよりで募集しましたが、策定委員会で想定した件数より少なく、候補地の絞り込みに、むずかしい点があるので、市民だより、HPで、9カ所の場所で再募集という対応をし、奈良市内のお住まいで1ha以上持っておられる方、約35、6名程おられるのですが、その方に、文書でお知らせすると。他の地権者の方から、特定の方に対しての募集はおかしいんじゃないかと、ご指摘を受けるおそれもあるので、そういう対応がどうかと思います。4月1日号の市民だより掲載と</p>

佐藤委員 森住委員	<p>すれば、2月25日までいけますので、4月1日から4月末までの募集をし、すぐ資料を整理すれば、絞り込み作業に遅れを生じることはないと考えてます。再募集の理由を掲載することになりますので、委員の中で誰かに一任頂いて、文章を作るという手続きを進めていければと、考えてます。</p>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 市外の人は1 ha以上でしたか、それと合わせる訳ですね。それなら賛成です。 ● 1 haの方に確認するだけで、募集する必要はないと思うんです。募集は終わってますからね。広報を見たかどうか。見て意向があれば、書いてもらうだけの話ですからと言ってるのです。そこに買うことが決まっておれば、知らせなかったら不公平ですけど、意志を確認するだけです、今回は。意志を持たれた方のところに決まってるか、まだ分かりませんから。不公平にはならないと思うんですよ。35名やったら、早くできますからね。そんな複雑な手続き追わなくても、その方だけにお知らせするだけで、別に平等性に反しなないと思いますが。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● そういうやり方もあると思うのですが、念を押すならば確かに、再募集って言われましたか。再募集というと、問題があるから、正確には追加募集と、一応募集は終わったんだと。追加として、期間も短くして、追加募集をするということで、全体的に網をかけて市民だよりも載せるし、HPにも載せると。その上で1 ha以上の土地を持つての方については声をかけるということで、追加募集ということで、短期にやられたらどうでしょうか。事務局が心配するような、クレームもつきにくいと思いますので。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 確認するだけの作業であっても、何でおれのところに来たんだっていう、一人でも言いだすとややこしくなりますので、追加募集といいですか、大義名分あった方が安全かとは思いますが。少し時間はかかりますけども。9カ所から絞り込む方法で、他都市の例を踏まえて、叩き台を作りたいと、事務局から申し出を頂いております。事務局が叩き台作るにあたって、ご意見があったらお願いします。
四元委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 早めるのだったら、会議を持つペースを、原則今までは2か月に1回ですね。これが原因で遅くなってると思いますが。少なくとも1か月に1回に、来年度から原則にしないと、今のままじゃ終わらないと思いますよ。大事なのは、土地が買えるかどうかということと、地元の了解があるかどうかですからね。私達の今やってる手続きは、客観的データの整理ですね。これは、あと1か月位あったら終わるんです。それで順位つけたところでね、結局その二つの難を乗り越えなかったら、結果的に遅れますからね。現在は遅れてるようには見えますけども、そんなに遅れてないように思うんです。ペースを上げることを、今日は確認した方がいいと思います。
四元委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 選定について、人それぞれ思いがあると思います。ここらで、各委員の皆さんで、どこがいいのか、3カ所にするのか4カ所にするのか、まず絞り込みをして、その中の優位なものについて、議論して進めていけば、行程も立ち易いと思うのですが、立地条件としてどこがいいのかを、決めてから、用地取得の問題とか、他市に影響するとかを煮詰めていけばいいと思ってます。

渡邊委員長代理	● 具体的に、いくつ位までに絞りましょと、今日決めておいて、それに向けて事務局で叩き台作ってもらってもいいかもしれないですね。
阪本委員	● この委員会で数カ所程度に絞り込んだとしますね、最終的には奈良市の方で、議会で承認をされて初めて、それが通る訳ですか。最終的に尊重されて市議会で承認されると思いたいんですが、どういう手順で、市として承認して頂けるのかを知りたいんです。
A委員	● これは市長に答申をすることじゃないですね、審議会とかの答申と違って。それと、絞る話も出てますけれども、369号線沿いの地権者は、不在地主が多いのか、それとも市内の所有者が多いのか、教えて頂けたらいいんですが。
事務局(仲)	● 不在地主の方には、1 ha以上の方に、出させて頂きましたので、あとは市内在住の方と理解しております。議会の関係ですが、最終的に決定するのは、奈良市が決定すると。しかし、予算が伴いますので、議会の承認は必要になってくると思います。1カ所に絞って議会で諮るという話になってきます。
田中(幹)委員	● 私は調停の奈良市側代表だったのですが、何も議会の決定を得なければとは書いてないんです。ここでの決定です。1箇所に決定するとは書いてないですよ。1箇所に決定しますと、最初がだめだった場合に、次を決めるの、また時間がかかるのですよ。第1候補、第2候補、第3候補位までは作っておいても調停の主旨には反しないと思うんですけど。
佐藤委員	● 最初の点は、議会云々は、調停条項には書いてません。民主的な調停条項になってまして、委員会を作ってそこで手順を決めて段取りよく新しい施設で竣工稼働開始をすることで、経過も触れてます。私は、1カ所と思ってた訳ですけど、幅があることだと思います。順番つけて3カ所程度にした方が、望ましいのかもしれないですね。事務局の方で、叩き台という話があり、次回に出して頂いて、我々に送って頂いて、次回議論をして、集約をして、場合によっては、委員長代理とかが中心に論点の詰めの作業をすとか、早く絞る必要がある。次々回には、3カ所程度に絞ることに向けて事務局または各委員が、考えまとめておくこと位を確認したらどうでしょうか。
三浦委員	● 委員会が決定する、これは間違いのないと思うんです。決定したものは市長に報告します。市長が議会に諮るという形です。5,000㎡以上を購入する場合は、議会承認が必要ですから、最終的に1カ所決めて、市長に報告して、市長が議会にかけたときに、議会が許さんと言う場合は没になります。
渡邊委員長代理	● 今までのお話から、1カ所ではなくて3カ所もしくは4カ所という話ですね。絞り込みの叩き台を作って頂けますか。絞り込み作業の工程表を、次回に出して頂いて、議論をして進めるというのでどうでしょう。
事務局(仲)	● それは考えさせて頂きます。追加募集の文案を、見て頂きたいんですけど。見て頂く方を選んで頂けますか。
渡邊委員長代理	● 追加募集の文案をチェックしてやろうという方、いらっしゃいませんか。
佐藤委員	● それ位なら、私やりますよ。渡邊委員長代理が責任者で、私、下請で。

事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 追加募集の件は、市民だよりに載せる関係で2月25日までに、整理する必要があります。広報した文章に、なぜ追加募集が必要か入れなくてはならないので、事務局で考えて、佐藤委員に送り添削して頂き、渡邊委員に見て頂いて整理したいと思います。代表者の方に一任頂く形をお願いできたらと思います。
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 追加募集の関係の資料は、前回の募集と同じように、市民だよりは、こういう記事しか載りません。前回HPで、出させて頂いたものを、追加募集に変更して、同じ内容をHPに掲載させて頂こうと考えてます。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 1ha以上の方に、ご連絡するにあたって、問題が起こらないようにという意味もあり、それほど積極的に、あなたの土地を買いますみたいなことまでしなくてもいいと思います。
渡邊委員長代理	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● では、スケジュールを。次回3月31日の金曜日は決まってるんですけども、その次がまだですが、どうしましょう。
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月1日から4月30日までの間、追加募集になり、4月末で締めて、10日位をおいて、追加募集の整理をさせて頂けたらと思いますので、5月に入ってからの方が、整理もできると考えてます。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 19の火曜日。よろしいですか。では、5月19日火曜日に決まります。その前が3月31日です。ひとまずこれで終わりになります。ご苦労さまでした。
事務局(森嶋)	<ul style="list-style-type: none"> ● 傍聴人の方にお配りした、本日の資料49および参考資料の候補地区における経済効率面からの比較の資料につきまして、回収を致しますので、自席にてお渡し頂けますでしょうか。皆様方には長時間に渡り、ご審議を頂き誠にありがとうございました。尚、次回策定委員会は3月31日の開催予定でございます。これを持ちまして閉会とさせていただきます。